

「個別の教育支援計画」を作成・活用してみませんか

釧路管内特別支援連携協議会

「個別の教育支援計画」は、学習面や行動面、生活面において支援を必要としている子どもが、何に困っているかを見極め、どのような支援が必要かを関係機関と共に考え作成・活用するツールです。

本資料を参考に、「個別の教育支援計画」を作成・活用し、子どもを多くの目で見守り、関係機関で力を合わせて、子どものよりよい生活につなげてください。

どのようなときに作成・活用するとよいのですか？

- 子どもが学習や生活に困り感をもっている
- 子どもの登園・登校渋りが続いている
- 子どもが放課後等デイサービスや発達支援センター、病院等、関係機関を利用している
- 子どもへの接し方に不安がある

子どもの様子やこれまでの支援の状況、保護者の願いを学校等に伝えたい

学校や関係機関に子どもの支援について相談し、アドバイスを受けてたい

自分の思いどおりにできないとイライラするから助けてほしい

本人

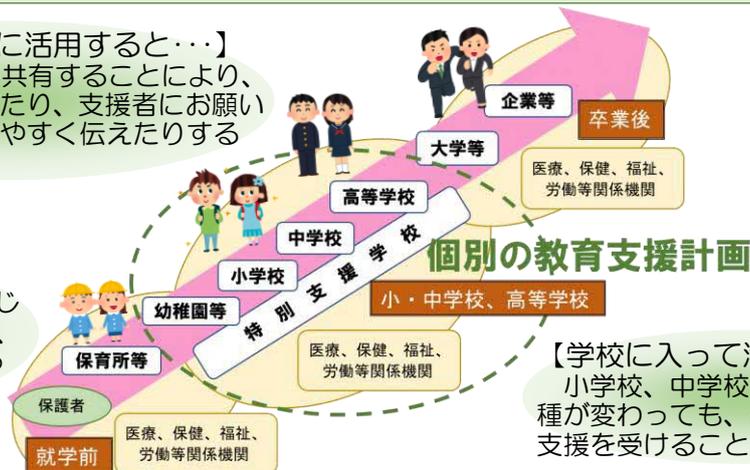
保護者

継続した支援を必要とする、全ての子どもと保護者が作成・活用することができます。

作成・活用すると、どのようなよさがあるのですか？

【社会に出るときに活用すると…】
労働機関等と情報共有することにより、適切な就労につなげたり、支援者をお願いしたいことを分かりやすく伝えたりすることができます。

【幼児期から作成すると…】
早期から、子どもの実態に応じた、支援の目標や内容について、学校や関係機関と共通理解を図った取組ができます。



【学校に入って活用すると…】
小学校、中学校、高等学校と、校種が変わっても、継続して一貫した支援を受けることができます。

【つなげます】

今まで本人が受けてきた相談や支援の記録を蓄積し関係機関で情報を共有するので…

記入例	No.
相談・支援機関等 〇〇発達支援センター 担当: 〇〇 〇〇 連絡先: 〇〇-〇〇〇〇〇	1
〇〇病院 担当: 〇〇 〇〇 連絡先: 〇〇-〇〇〇〇〇	2
〇〇養護学校 担当: 〇〇 〇〇 連絡先: 〇〇-〇〇〇〇〇	3
〇〇町教育支援委員会 担当: 〇〇 〇〇 連絡先: 〇〇-〇〇〇〇〇	4
	5

関係機関は、必要に応じて、相談等の内容について連絡を取り合い、よりよい支援について考えることができます

【引き継ぎます】

子どもの成長や支援の経過をまとめ、進学、就労などの新しい生活の場へ引き継ぐので…

希望や願い	
現在の希望	将来の希望
本人 楽しく学校に行きたい。	自分の考えを伝えるようにしたい。
保護者 友達と仲良くしてほしい。	自分の責任を果たす人間になってほしい。
◆支援の長期目標◆ ① 自分の思いをしっかりと話すことができる。 ② 友達と仲よく遊ぶ。	
◆支援の短期目標◆ ① 自分の気持ちを表現することができる。 ② ほかにの子と一緒に活動しようとする。	
気になること（課題）	成長のための手立て
本人について 集団活動への参加が苦手な様子が見られる。友達と遊ぶ機会が少ない。	本人について 本人自身で興味や関心のある活動を選択し、主体的に活動に参加し、自己肯定感を高める。
支援の結果 小集団での活動にスムーズに参加できるようになり、慣れた人に対しては言葉で要求を伝えることができるようになった。今後も継続してこれらの支援を行い、話すことへの自信を積み、興味や関心の幅や人との関わりを広げられるようしていく。(R〇〇〇 記入: 担任 〇〇 〇〇)	

進学先や就労先は、子どものこれまでの成長と支援の経過を確認し、適切な対応を考えることができます

※「個別の教育支援計画」は、各自治体や学校等によって、それぞれの様式があります。

どのように作成・活用していけばよいのですか？

【作成・活用の手順の例】

本人・保護者

学 校

関係機関

本人や保護者の願い、環境等の把握

実態の把握・情報の収集

支援目標の設定

具体的な支援内容の設定

支援目標や支援内容の確認・共有

評価・改善

引継ぎ

本人及び保護者、学校の先生や連携したい関係機関等が話し合い、本人の状況を確認しながら作成を始めます。

本人及び保護者が、気になることや心配なこと、これまでに受けた支援の経緯、これからの願いなどを伝えることにより、適切な支援について関係者が一緒に考えていくことができます。

まずは、学級担任や各学校の特別支援教育コーディネーターの先生、市町村教育委員会に御相談ください。



どのように取り扱っていくのですか？



学校は、「個別の教育支援計画」を適切に保存・管理しており、「個別の教育支援計画」の各項目については、本人及び保護者が同意した以外の人へは公開しませんので御安心ください。

作成・活用してみて、どう感じましたか？

【本人・保護者・関係機関等の声】

「個別の教育支援計画」を見てもらうことで、就労先でも私のことを理解してもらえました。



本人



本人

得意なことや苦手なこと、これまでの支援の内容が進級・進学しても引き継がれていて安心しました。

保護者の願いや、子どもの希望を踏まえ、病院や療育機関、学校等の関係機関と一緒に、見通しをもちながら支援内容を考えることができました。



関係機関の
担当者



保護者

学校等での様子が分かったことで、家庭でもしなければならぬことを、みなさんと一緒に考えることができました。



保護者

子どもの育ちの一步一步が記録できて、学校や関係機関と一緒に子どもの成長を確認できました。

子どもに関わる全ての人と同じ視点で子どもを見守ることが大切です。
お互いに思いや考えを伝え合い、子どもの育ちをみんなで理解し支えていきましょう。



全体についてのお問合せは、

釧路管内特別支援連携協議会 事務局

(釧路教育局義務教育指導班 (0154-43-9283)) までお願いします。